

社会福祉法人創英舎
特定非営利活動法人EPO

Bring up ぶりんぐあっぷ

For the community

千葉県千葉市

発足：2012年11月

■ちば子ども発達センター

■みどり子ども発達センター

■もりのみ幼児教室



～まなびは豊かな遊びの中に～

◆発達に気がかりを抱えるお子様とそのご家族が、地域の中で安心して『療育』を受けることができる施設です。

◆支援の中心に『豊かな遊び体験』を据え、お子様の成長発達を、ご家族と一緒に考え見守っていきます。

【ぶりんぐあっぷのスタッフ】

作業療法士・言語聴覚士・公認心理師・臨床発達心理士・社会福祉士・精神保健福祉士・保育士・児童指導員・自閉症スペクトラム支援士・タッチセラピスト・ABA認定セラピスト・音楽療法士・栄養士・医師（嘱託）

支援内容ご紹介❶

ぶりんぐあっぷの発達支援

発達の5領域『健康・生活』『運動・感覚』『認知・行動』『言語・コミュニケーション』『人間関係・社会性』を盛り込んだ年間指導計画をもとに、以下の支援内容を軸とした集中介入を実施します。

1-3歳児

9:55~11:30

- 初めての集団先生やお友達と楽しく過ごす
- 遊具や玩具の使い方を先生やお友達と一緒にゆっくりと練習
- 模倣遊び
- ふれあい遊び
- 感触遊び

併用通園

9:55~11:30

14:55~16:30

- 基本的生活習慣の確立のために、発達特性を考慮したスモールステップの支援（ライフスキル）
- 運動機能促進
- 発達段階に沿った個別指導（すくすくタイム）
- コミュニケーションの促進。遊びや楽しみのバリエーションを増やし、相互的なやりとりにつなげる

就学準備

14:55~16:30

- 就学を見据え、一年をかけてゆっくりと準備
- 集団遊びを通し、ルール理解・状況判断・具体的なコミュニケーションスキルの獲得を目指す
- 書字・読字を発達段階に合わせ練習

放課後等デイサービス

15:00~17:00

- 小学校入学後のフォローアップ
- SST指導
- 良好なコミュニケーション手法をお子様の特性に合わせ、一緒に考え、一緒に学ぶ
- 目的別クラブ活動
- 体験活動サマーキャンプ・各種行事
- 学習支援

個別指導

設定時間適宜

- 専門的アセスメントを実施、専門職による発達リハビリテーション
- 親子共育型早期療育プログラム『ぺあすく』
- より個別的配慮を必要とするケースに実施



支援内容ご紹介②

家族支援

●子育て講座

春のお話会（発達基礎講座）/ぱぱの会/小児科医による子育て後援会/冬のお話し会（テーマ別の分かち合い）

●就学相談会

●親子共育型早期療育プログラム

『ぺあすく』

●タッチセラピー

●子育てサポート/お子様と一緒に振り返り

●ファミリーデー（きょうだい児支援）

継続相談 サマーキャンプ等実施

地域支援

●保育所等訪問支援

●地域連携体制の強化・コーディネート

●各種研修会実施

小児医療の現場から（講演会）/感覚統合・入門基礎研修・J-map講習会/ABA 支援者向け講習会

家族支援★地域支援
安心して子育てのできる環境

『お話会』『就学相談』
お母さんたちへ安心を

『ぱぱの会』
お父さんたちの生の声を引き出す

『ぺあすくプログラム』
ご家族にとって、具体的な方法を

『タッチセラピー』
セラピーがもたらす効果を
皆様にお知らせ!!

触れてあげることの重要性と、具体的な手技を全職員が研修を受け支援に反映させています。専門セラピストより、ご家族へもお伝えします。

★先輩ママの体験談が聞ける
★就学に向けた、より具体的なアドバイス

意外と多かった、「俺とおんなじ悩みの人!!」「俺とおんなじ悩みの人!!」「俺とおんなじ悩みの人!!」の声
「こういうの待ってました!」の声
パパとのじゃれつき遊び体験会

慶応大学・専門機関との連携による、ペアレントトレーニングのプログラム。応用行動分析ABA認定資格を取得しセラピストが、お子様の成長発達促進に向けた個別指導・親子共育programを実施します。家庭内療育の基礎を学んでみませんか。

ぶりんぐあっぷが大切にしている視点と手法

できないことを子どものせいにならない、
という考え方



- 感覚統合の視点でお子様の心身の発達状況と特性を理解します。
- 応用行動分析（ABA）の理論に基づき、負担の少ない手法を用いて、お子様の発達レベルの底上げを目指します。

合意形成の確立を、早期に負担少なく実施するには、有効な手法であると考えています。

ぶりんぐあっぷは、各専門分野の知識を集結して、様々な角度から、お子様やご家族をサポートする『療育チーム』です。